

海賊対処の第18次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第18次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第18次派遣水上部隊が、3月17日に呉基地(広島)を出港した。

同部隊は、第8護衛隊司令(立川浩二1等海佐)の指揮の下、護衛艦「いなづま」(可知俊一郎艦長)及び同「うみぎり」(松田光央艦長)、乗組員役400名(海上保安官8名同上)により編成され、現地到着次第、第17次派遣部隊の護衛艦「さみだれ」・「さざなみ」に代わり、護衛活動を開始することになる。

同基地で行われた出港行事では、若宮健嗣防衛大臣政務官及び池田徳宏護衛艦隊司令官より、派遣隊への訓示などが述べられた。

当協会からは、川崎汽船佐々木専務執行役員、商船三井根本常務執行役員他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

(海務部 小山)

呉出国行事



立川第8護衛隊司令ほか自衛隊幹部の隊員方々に訓示を行う若宮防衛大臣政務官



派遣隊員に訓示を行う池田徳宏護衛艦隊司令官



日本船主協会を含む関係団体から派遣部隊指揮官らへ花束贈呈



第 8 護衛隊司令が「いなずま」へ最後に乗艦し、第 18 次派遣部隊の総員が乗艦完了



出港する「うみぎり」



出港する「いなずま」



横断幕を持ち、手を振り護衛艦を見送る日本船主協会関係者